夕刊
磐城新聞
五月十四日發行
定價 一ケ月金五十錢（郵税共金六十五錢）
廣告料 普通欄一行金九十錢 ……
編輯印刷兼發行人 福島縣石城郡平町田町十六番地 ……
發行所 磐城新聞合名會社
電話 五六四番 振替口座（福島）…
（日曜祭日翌日休刊）

『新しき土』と映畫輸出の可能（二）

小林生

私が一番感心したことは『西洋人はかういふものを見たいだらう』『外人はかういふものを期待するだらう』と私が平素から想像して居つた、日本に於けるあらゆる方面のものを、全部採用して、それを、どこぞに使つて現はしてゐる點であつた。これを私の考へも、ノアンク博士の考へも、一致して居つたから嬉しいと言ふのみではない。私達が外國へ持つてゆく興行價値のある所謂輸出向きの歌舞伎をアレンヂする上に於て將來大に學ぶべき點の多かつたことを心から感謝するのである

○

外國人に、日本の利益の爲めに見て頂くべき映畫、と思ふ製作は仲々六ケ敷、と思ふ。事實世界に於ける映畫興行は、營利事業中でも頗る神經過敏的のもので、興行價値のあるものと無いものとの差が格段に甚だしいのであるから、苟も興行價値のないものは上映が六ケ敷いのは言はずして明白である然るに日本では宣傳用として無暗に映畫に作製する文部省や、國際文化協會や、觀光局や、各方面で澤山に製作する

○

先達、大阪倶樂部で逢つた智識階級の多くの紳士は新聞映畫欄の批評の如く『新しき土』を非難してゐる甚だしきは『あゝいふものを外國人に見せることは國辱である』『あの火山や地震の光景を外人に見せることは徒らに觀光客に脅威を與へる丈で、日本のためには利益ではない』『主人公の大和輝雄は代表的日本人として腹が立つ程劣等人種觀を與へると思ふ』と言ふ風、隨分酷評をするのであるが、私は先づ第一に茲に宣傳とは何ぞやといふ問題を掲げて、非難する人達にお話したいと思ふ

白い夢の通夜

大竹秋平

白い月がしくしく泣いて
白い夢が海の上を
忍び足で通りすぎる
やはらかな彼に
われの心知れてか白い月が
しくしく泣いてゐる
時をり、ほの暗い海の
くちづけの音が洩れてくる
白い夢の中からゆらめいて
やはらかな砂に這ひよる
かなしい海のさざめきよ
我が心知りてか靜かに這ひよる
人も人の戀も
戀に疲れたおもひも、ひとつに
白い夢の通夜を守つてゐる
なぜかといふのか、女よ
白い月がしくしく泣いてゐる
それつきり、あゝそれつきり

自題小照（其ノ一）

珠雲　小野務平

吾又當年自氣豪
縱横擧翮儀鵬翔
若顏今己憐憔悴
錯節盤根幾度勞

5月15日

△滿洲里會議（滿蒙）始まる△京都の葵祭（賀茂御祖神社大祭）△上野の山の彰義隊戰爭（慶應四）△北條時宗生る（建長三）

初夏の一日

金澤千保
葉櫻の月に隱なき大地かな

武石光璧
夏めける舗道に青き灯のながれ
雷の遠のく草家灯りけり

山下幸資子
青葉濃き峡田はふかく水を湛え
山鳩の聲ひゞき南風松を吹く

講談　妖刀流轉（ようとうるてん）(87)

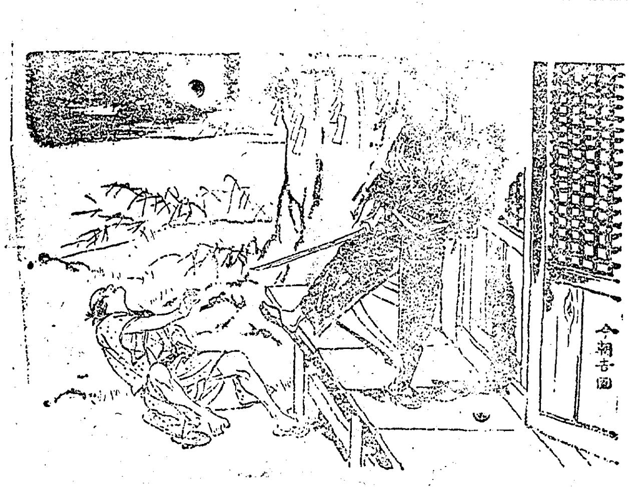
邑井貞吉演　佐々木今朝吉畫

男女の惡緣（一）

助けて呉れと身を悶えて泣き喚くその樣子が、どうも嘘とは思はれないから役人も終ひにはあぐねて來たそれには最前屋探しをしてもこれといふ怪しい所がなかつた、それでは眞實隱まつて居るのではないなと少しは藤作を信じたものと見え

役『隱し立を致し强情な奴だ、それ程迄に存せぬと申すなら一旦は許して遣はすが、萬一後日、至りその方の隱し立てを致した事が相判ると其分には差置かんぞ、よろしい、許すから立歸れ！』

實にその頃の役人は威張つたもので農夫などは土芥のように扱つたものだ



藤作はよう／＼放免されたが、もうこの時は夕景で暗くなつて居ります、名主も氣の毒に思つたから別間へ藤作を連れて行つて、いたはり慰め夕食などを進めて呉れた、然し藤作は胸が一ぱいで食事も咽喉へ通らない、名主の好意を謝して暫らく身體を休めて居る中役人達は囚へ二人を引立つてゾロ／＼引あげた樣子、悄然として名主の所を立出た藤作が打たれたり蹴られたりして、痛む身體を擦り／＼トボ／＼と我家の方へ歸つて來たのは最う夜分だ

前申ける通り藤作の家まで は一里も近い、川沿ひの道、堤にはずつと藪が續いて居る、晝間でも淋しいところ、腕組をして首をうなだれ考へ事をしながら歩んで來た藤作が、途中にありました辻堂の縁へ腰をおろし、思はずほつと太い溜息

藤『あゝ酷い目に遭つたものだ、若氣の過ちとはいひながら放蕩をして散々苦勞をかけた母親が病氣で亡くなり、叱言をいひ手もない處から、その初七日も經たぬうち、馴染のお紋を受出して來て親から讓られた財產も、あらかたは夢中で費ひなくした、不孝の罰かも知れないが、連れて來た女房はだらしもなく引つゞいて凶い事ばかり、强盜にまで入られ、その難儀を助けてくれた義理があるので傳五郎の頼みをば無下に斷ることも出來ず、隱匿つて置いたのが此方の不覺、乃公までが惡黨の連類か何ぞのように打たれ叩かれ拷問同樣、これも亡き親の折檻かと、今日といふ今日は、乃公もつく／＼自分の非を後悔したが、あとの祭りで追つつかねえ、兄弟二人の敵討に狙はれてゐる身の上だなぞと、いゝ加減な事と眞に受けたが、あの傳五郎が聞くも恐ろしい僞金の使張本とは知らなかつた、この上は一日も早く何とか胡麻化してあの傳五郎に立退いて貰はなければ、この上何ういう禍ひがこの身にかゝつて來るか判らねえどうも目つきの鋭い男とは思つたが、あの傳五郎が大惡人、アゝ考へても恐しい事だ』

と身ぶるひをした藤作が暫くは身體を擦つて休んで居たが氣を取り直して立上り又も歩き出さうとした途端……

闇にもそれと刀の稻妻、辻堂の木連格子の間から物をも言はず只一突に藤作の脇腹のがけグサッとばかり突通した

藤『ウワアーッ』

と苦痛の叫び、四圍の寂寞を破つて藤作は血に染まり、身體を弓と反らして兩の手に虚空をつかみ七轉八倒、苦しむところを格子の中より押あけて片足、藤作へかけ、突通した白刄を引ぬきながら藤作を蹴倒してと身を現した黒裝束覆面の曲者がある

大輪朝顔の作り方（上）

入山大東生

（一）朝顔の種子の播き方は箱蒔きにより苗を仕立てるのが一番無難であります。

箱の造り方は一尺六七寸に一尺位深さが三寸位のもの材料は杉の中間の古いもので箱の底は排水が完全に行はれるやうにして穀きたい、次ぎに播種用土であります朝顔も他の植物同樣に肥料氣のない土を使用する事、それには前年に朝顔栽培に使用した古土又は菊に使用した古土を主として用ゆるか、これを使用する場合には充分に雨露にさらし乾燥せしめ良く碎いて篩を通して粉末を除去致します、かくて土が出來たならそれに等分の砂を混ずるので其砂は荒砂である事が絕對に必要であります

種子を蒔く場合には胚の部分を上にして蒔く樣にする、これは胚を下部にして蒔くと『から』を脫せずに發芽するからであります

蒔箱に土をもり定規で均らした後充分に灌水し土を落付かせ置く事をお忘れならぬ樣に覆土は四五分位にして下さい餘り厚くない方がよろしい樣であります

播種が終りましたなら日射通風の良好な所に置き土面が乾かぬ樣に注意して小量づゝの灌水を行ひます、晴天の場合は一日三四回、曇天の際は一回位であります

廣告

連日滿員御禮
豪華なサロン 新たな設備！
御同伴で御商談
御會合に
（心付御會計の一割外拜辭）
御食事
喫茶
小宴會
グリル バッカス
電七〇二

産科 婦人科 外科 藥局
院長 木村寅次郎
醫學博士 内本宗八
藥劑師 大岩俊雄
入院隨意 病室完備
平町新川町十九番地
木村病院
電話一六四番

寶印は
刻方に依つて
運の向く寶印と
運を失ふ寶印と
になります
易者
一司堂印舖
平町三丁目警察通り

新車のおしらせ
斷然!!! 乘心地良い!!!
ベビーフォード
入車いたしました。
是非！御試乘の程を！
市内四〇錢…市外二割引
豆タクの……
スヾキタクシー
電二一七番

肺病ロクマク
其徵候としては原因なくして肩がこるとか胸が痛むとか、寢汗が出るとか、輕くて繼續する『セキ』がするとか、顔色が段々蒼白くなるとか、体重が月々著しく減ずるとか、朝より午後になると輕度の熱が數日以上續く場合感冒又ハ流行性感冒の後久しく疲勞不快の感覺を脫せざる場合には『ゼヒ』一二週間位服用して下さい、必ず御滿足を得る事と信じます、今迄に全快せられし御方は數多く御座います。
此藥は他の藥店にありません。
價一週間…二圓　二週間　五圓五十錢
ハイロファノール代理店
常磐線植田町
安田屋藥局
電話一〇三番

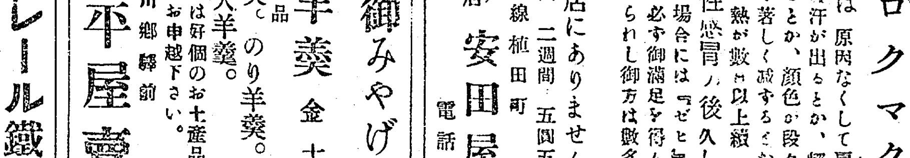
磐城の御みやげ品
名物 靈峰羊羹（みやま） 金十錢
姉妹品 柿羊羹 のり羊羹 沼ノ内辨天羊羹。
御旅のお出入には好個のお土産品です。
小賣御希望の方はお申越下さい。
製造發賣元
小川郷驛前
平屋賣店

中古各種レール鐵管
礦山用機械器具類
製鐵原料問屋
二大製鐵會社特約店
海軍工廠御用達
銅鐵 機械
井尻七三郎商店
出張所 福島縣平町鍛冶町十一 電話五二二番
本店 大阪市南區安堀町三十三番地 電話東五三三四番
支店 吳市藏本通十一丁目一番地 電話二二二〇番
御買上品精々御安く納品致します
御拂下品は精々御高値に買受ます

お醬油は……ヤマフル
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町
電話（營業部一〇番 本店二七番）
味噌醬油 たひら正宗 鰹節 食料品
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
X光線科
平南町
上田醫院
病室完備
（電話一二九）

産科 婦人科
醫學博士 五十嵐雄二
病室增築、手術室完備
往診隨時
平町新川町（電話三六九番）



貸切自動車
高級流線型
迅速 親切 叮嚀
◎時代の要求!!
◎時代の寵兒!!!
皆樣の足
◎お玄關から
お玄關への……
◎豆タクを是非
御利用下さい
…貸金低廉普通料金の三割引…
㊅平和タクシー
豆タク部
植田台町
電話六十四番

冒は「ニッポン」。魚は湊魚
日本水產特約
御小賣ハ 平製氷會社 電二三八・三三六番
鯛 甘鯛
エビ マナ鰹
白魚 帆立貝
ワカサギ ウニ貝燒
ヒノマル凍魚
平代理店 四丁目
ト印魚問屋
電五二八番
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

呼吸疾患救濟の王……
陸海軍御用
帝國大學醫學部御用
官公立醫學專門學校御用
吸入用酸素
體温計（メートルグラス）
御用命次第迅速に御屆け致します。
處方箋調劑所
平町古鍛冶町縣社ノ下
阿康藥局
電話四四番
振替口座東京三〇〇三五

輝かしい明日の蔭に 郡教育會の分解作用

平町各小學校の離脫が齎す諸影響

市制明暗譜

町から市へ！、町長が市長に、町會議員が市會議員に、其他等、等。一度待望の市制實施が告示されるとそこに目まぐるしい種々な變轉がやつて來る。之もその一つ──現在五方部五十五校、郡を打つて一丸とした石城郡教育部會は從來山中第一校長主宰の下に初等教育の刷新改善、關係教職員の親睦親和等着々その成績を擧げ縣下に於ける强力な存在として迎へられてゐるが近く平町が市になると夫々規定に基き平市教育會として獨立する事になるが、由來同會の維持經營は各町村の分賦金と俸給百分の一と云ふ零砕な各教員の醵出によるもので、平町の三校と平窪と百名足らずの職員に過ぎぬ平市が全然自主的に立つて行くには必然的に來る資金難によつて各種事業の施設經營上往々困難を生ずべきは蓋し自明の理である外、現在約一萬圓を有する郡教育會の基本金を平市教育會の獨立に伴ひ之を分割するに方つて單に會員數にのみよつて比例配分する時は其額は極めて少いものとなるのでその標準を如何にすべきやなども少からぬ惱みの種になるを失はない、更に之は郡全体の問題であるが篠山會長は閲歷年數から云つて他に超然たるものあるので同氏の會長は内部の統制上何ら議論の餘地ないに反し、氏離脫後の同會には佐藤内郷、大平草野、吉田好間、菊池湯本等殆ど互格の立場に在る各校長の外現副會長たる西山小名濱等與に多士濟々たるものあるので今後果して何人により會の統制を圖るべきかは當面の大なる人事問題であらねばならぬ等觀じ來れば平町に於ける輝かしい市制實施の反面には斯うした憂鬱もあるのである

人絹から八百名

紹介所斡旋に大童

錦村の昭和人絹工場からさきに平職業紹介所に男工五百名、女工三百名の大量斡旋を依賴して來たので希望者は今月末迄履歷書、戶籍抄本、身許證明書を添へて同所に申込まれたいと 男は十六才以上二十五才迄、女は十二才以上二十二才迄、何れも尋卒以上の學歷を有するもので中等學校卒業者は採用しない、手當は最低男五十錢女三十九錢で熟練工になれば日給男三圓三十錢、女一圓四十錢位になる

新馬調教師、

滿洲乘馬隊から

尚同所では目下滿洲某乘馬隊からの依賴により新馬調教師の募集に當つてゐる 資格は砲兵、騎兵、輜重兵の除隊者で調教に經驗ある四十才迄のもの、手當は五十五圓乃至七十五圓で期間滿了(三ヶ月乃至六ヶ月)後は就職を斡旋する好條件 希望者は來る二十二日迄に同所に申込まれたく、尚選拔試驗は二十六日午前九時から仙台野砲隊で行はれる

。。。。。

郡下小學校長會 二十二日午前九時から平第一校講堂に開き今年度事業其他を協議

平町都計街路網 設計愈完成す

平町都計街路網は縣都市計劃係りで昨年來設計を進めてゐたが愈よ完成したので此程橋本主任技師並に橋本技手が來平、町當局に原案を内示して路線名其他を打合せ來月下旬頃招集の十二年度都計委員會に諮り正式決定する事となつた

職業所長會議

あす求人側出席

縣下職業紹介所長會議は既報の如く明十五日から三日間に亘つて湯本町役場に開かれ縣から岩瀬社會課長、錦織局が臨席する 明十五日は午後三時から炭礦、人絹、漁業家等の求人側が出席、今後に於ける需給の圓滑方法について懇談する

。。。。。夏井駐在所竣功。。。。。 夏井村駐在所は工費千三百餘圓で此程竣功、十三日落成式擧行

。。。。。青訓生自轉車行軍。。。。。 平町青年訓練生は明十五日勿來迄自轉車行軍をなす

特別列車を仕立て 平三小學兒童 見學の旅へ

多分來月十二日頃決行

平三小學校男女六年生は毎年六月を期し日光方面へ修學旅行をなす例になつて居るが、今年も(第一)二百三十名(第二)二百十名(第三)百六十名、合計約六百名が來月十二日頃特別列車を仕立て多數教員父兄引率の下に日光、東京方面へ一泊二日の旅行をなす事となり鐵道及旅館等に對し目下準備交渉を進めて居ると

隣保館計劃

奉仕的保姆出でよ

助成會關係者の談

市制實施を記念して昨報の如く平町助成會の手で建設する事となつた、隣保館は約二百名を收容し得る設備を施し若干の保育料を徵收する方針であり、愈よ近く實計劃をたてる運びとなつたが右に就いて關係者は語る

豫算五千圓のうち一千圓は一般篤志者の寄附にまつ方針であるが、これもどうにか纏め得ると思ふので先づ新築には案外困難でなからうが問題は建設後の維持費である、これから奉仕的に仕事をする保姆二名を望んでゐる 尚現在郡下にただ一ヶ所の江名隣保館は百五十名位を收容し逐次良好な成績を收めてゐる

青年學校長講習會

二十四日から四日間及六月七日から四日間の二回、亘り若松二十九聯隊に開かれる縣下青年學校長講習會に郡下から左記校長出席

(一回)植田 鈴木佐忠 磐崎 黑木喜一 小川 田久德次郎 高久 金澤邦男 (二回)錦 北原操 內郷 鑛業堀一郎 渡邊 鈴木永名次 大野 鈴木龜之助

養蠶實組新設

產業組合法に基いて郡下には續々養蠶實行組合が設立されるが、其後の分は 入遠野 錦 上遠野 田人 泉 植田 又川前村大字川前に木炭改良組合が新設された

軍艦嚴島 便乘心得帳

惡天候の場合は禁止

既報、來月四日小名濱港千二百米沖合に入港する軍艦嚴島は翌五日午後零時半から同五時迄一般の觀覽を許可するが觀覽希望者は左記事項に留意されたいと

天候不良又は風波荒き時は觀覽を禁止す、觀覽者は不体裁なる服裝をなさざること、不用持物(傘杖等)は成るべく持參せざること、穿物は靴又は草履とし其の他は必ず上草履を携行のこと、艦內外に於て寫眞を撮影せむとする者は必ず當直將校の許可を受くること、艦內に於ける婦人の用便は不自由なり、天候其他の都合により軍艦の行動を變更することあり、不健康者及老幼者は危險に付避くるを可とす、地方衞生狀況其他により一般觀覽を禁止することあり

軍艦便乘者 抽籤で決定

來月七日朝八時海上簡閱點呼を濟ませて小名濱港を出港鹽釜に向ふ軍艦嚴島の便乘許可數は別項の如く縣下で五十五名に決定したが平町では近く割當て數のきまり次第例によつて抽籤で便乘を許可すべく近く希望者の受付けを行ふ事となつた

氣早な カン／＼帽

午さがりの陽がギラ／＼輝いて、もう暖かさを通り越して南の風は生ぬるい、ちき目の前をつばくらが矢のやうに掠めた──ウヰンドに氾濫するセルの模樣替が清々しい『初夏』を發散してゐる、鋪道を走る撒水車を追ふてハイヤーが涼しさうに辷つて行くあとから、丁度踏切の遮斷機が上つたやうに堰かれてゐた馬車が、自轉車が人がゾロ／＼と動く、パラソルがくる／＼まはりながら鋪道を横切ると向ふの角からカン／＼帽(これは氣早やだ)が現れて街にサツ！と夏の景觀が蜃氣樓の樣に浮き立つた

──(きのふ本町風景)──

其頃の町議戰を顧る

現在の約六分の一に過ぎなかつた 級別掉尾の有權者數

○△生記 (4)

新田目壽次郎氏が座長として平館に開かれた五日の有權者大會では、佐藤氏の委員による銓衡說が敗れ、憲政會の老武者鼠坂の故渺國手が『水永ノ停滯すれば腐る』と喝破したり、總有る意味に於てのダークホースたりし故飯田一二老が之亦新進氣銳の輩出を熱望したりして大に虹の樣な氣焰を擧げ、そこに齋郡長現靑沼町長の老熟した仲裁說が現れ、可なり錯綜した空氣を漂はせ大体各町毎に議員銓衡委員を互選し明日迄に發起者まで申し出づる事に申し合せ、散會はしたものの『一部有志の壟斷に委せては置かれぬ』と云ふ機運を釀成し會衆何れも意氣軒昂たるものがあつた。果せるかな一部には斯る委員互選するの必要なしと公言しつつ、敢て互選の措置に出でなかつたのも一二町あり、之れが取纏め實行に就ては既に夙く相當の難色が看て取られた

×

斯る雲行きの裡に五日の集りに於て協議の上選出された平町議銓衡委員會は十一日午後三時から二丁目大村旅館に於て開催されたが、右委員が擧げなかつた田町其他一二の町內からは何人の出席も無く隨つて主催者の豫期した樣な要領を得ず殆ど有耶無耶の結果に終つたが此の問題に關して最初から毅然たる態度を堅持して來た田町ではそんな事にはお介意ひ無く、十三日の本紙などに

町會議員 級候補者 馬目雄次郎君 漆畑元吉君 右最適任者と認め極力當選を期す 田町有權者一同

てな推薦廣告に氣勢を昂げ次で長橋町の遠藤林松氏、鍛冶町の一級吉田伴吉氏、二級中野甲藏氏等各町內の推薦が次々と紙面を賑はし出した

×

適れ中原の鹿を獲て得々たるもの、或は脆くも一敗地に塗れて默々ま兵を談ぜぬもの、あらゆる得意と失意と歡喜と憂悶とが錯綜して喜悲こも／＼の顏觸神經が陳列さるべき平町議戰は愈々あと十日を殘すのみとなつた。戰は既に熟した、早くも持久戰の不利を達觀し機首を回らしたものさへ現れ彼此各候補の陣容は先づ以て漸く整つたらしい形勢となつて來た 次に各方面に於ける戰況の素描を記さう

岩石でペシャンコ

洞窟住ひの乞食絶命

好間村北好間地內山林の洞窟に巢喰つてゐた鹿島村生れの乞食國井茂(五二)は十二日午後四時頃附近を貰ひ步いて吾家?へ入らんとした處頭上から轉げ落ちた岩石の下敷となつてそのまゝあの世へ──

總工費五十萬圓で 閼伽井藥師復興へ

ハイク道路も計劃

赤井村の名刹閼伽井嶽藥師は去る八年十一月炎上以來住職旭純榮大僧正が復興資金募集の行脚をつづけてゐたが、工費五十萬圓で本建築に着手することになり基礎工事を開始した、全工事の完成には五ヶ年を要する見込みである、尚本寺再興を機に庫裡につゞく裏山一帶を一大遊園地化する計劃がありこれが實現すれば平町からのハイキングコースとして絕好のものとならう

移民募集の宣傳映畫

郡下二ヶ所で開催

本縣の今年度に於ける滿洲農業移民の割當は三百名で當局ではこれが募集宣傳のため五月二十六日磐崎第一校二十七日川部校の二ヶ所で講演映畫並に座談會を開く

豐間村議選

豐間村會議員の選擧は今十四日執行された、定員十二名に對し十四名出馬してゐたが昨十三日夜に至り一名辭退したので結局十三名に減じた

方面委員大會出席者

來る二十五日から三日間東京市日比谷公會堂に於て開かれる全國方面委員大會への出席者左の如し

內郷村 田中宇一郎 赤井 興榮 山崎辰玄 田口淳三 福羽堅三 松村智淸 勿來町 横山太一 宮田富重

中原に二ヶ月求刑

今次の總選擧に際し星派のため勞務員駒木根忠敬(三六)に情報を齎した湯本町日雇業平原四郎(三九)は昨十三日平區で禁錮二ヶ月を求刑された、言渡しは明十五日

仲直り料 三十五錢也

湯本で坑夫の喧嘩

湯本町三函坑夫渡邊邦房(三元)同八仙小林正次郎(三二)の兩名は去る九日午前二時頃同町吹矢料理屋街を歩行中同坑大平千富榮(三〇)に喧嘩を吹つかけて毆りつけ、仲直り料として三十五錢をせしめた事發覺十三日平署へ

。。。。。耕地關係事務監査。。。。。 郡下に於ける縣耕地課關係諸工事の事務監査は今十四日から二日間に亘つて平團体事務所樓上に行ふ

。鼠賊。 神谷村上片寄二幡文吉(三三)は去月十四日平町鎌田佐藤某方から鐵棒二五本(十圓)を窃取した外コソ泥十八件を働いて十三日平署に檢擧

。。。。。自轉車泥公判。。。。。 昨報─自轉車泥の豊間村豊間相馬富(二八)の公判は十七日午前九時から平區裁中判事係りで開廷

天氣豫報

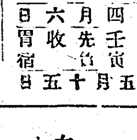
小名濱測候所發表

今晩は北東の風曇雨模樣 明日は北の風天氣次第によくなる

十五日

(小名濱測候所發表)

滿潮 前五、五〇 後九、〇五
干潮 前〇、三五 後一、四〇



舊四月六日 新五月十五日 土曜 壬寅 先負 收 胃宿

暦判定總本部 東京市本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部 神宮館 發

▲一白 相當に成功を收めし上は其以上願はぬが吉▲二黑 他の感情を害せず融和を謀り齊貨なれば吉▲三碧 不安な一日を過ごすべし萬事自重するが勝▲四綠 遣り過ぎの失敗多し又爭論口舌を避くべし▲五黃 人心和同して家業亦繁榮の兆あり勵勉第一▲六白 ぐわん健にして忌まれ得大にしてひんせきせらる日▲七赤 運勢良好にして希望計畫成り易く奮勵大吉▲八白 他よりの援助を受け萬事に便宜あり婚談吉▲九紫 才力に誇れば意外の變動を來たし損しつゝ多し

廣告

おでん 呑兵衞 平田町 末廣となり

おでん 一平(イッパイ) 電話二六三番

東西會社の新商品 石鹼 齒磨 齒刷子 連鎖店にあり
良い電球は ※……※ 眼の護り
國產 トウランプ

安齋外科醫院 平町田町 電四七五番

廣告

火災復興に三ヶ月間を要した大和田印刷所は愈々出來上りました、全部が最新式のポイント活字です、斷然地方唯一であります、多少にかゝはらず一度御下命の上御試驗下さい。價格は安く、速く それで出來榮は上々に努力致します
電話は從來五五五番でしたが今回の新設電話にあたつて最もエンギのよいシチフク神の七福
七二九番
平町仲町二十三番地 大和田印刷所 磐城之實業社 大和田與兵衛

電話新設 七三六番
福島縣平町鍛冶町一八
債劵 賣買 債劵貸付
日本商事株式會社 平支店

▽新設御知せ△
電話五五五番
右電話は今般白銀町加藤營業所殿より讓受け本日より開通致し候に付何卒御利用の程願上候
平町才槌小路一 相互扶助機關 石城中小商工互融會

市制記念 カメラマンに捧ぐ！
1 東朝主催『寫眞競技大會』の懸賞募集は五月二十五日〆切である。
2 五月十七日(午後六時より)マルトモホールに於て(東都一流技師)態谷辰男氏の『寫板の作り方と引伸の秘訣』の講演會がある
(詳しくは當店にて)
平市二丁目 (電3) 西村屋藥局 カメラ部